

令和9年度に向けた外国人医療体制整備事業の方向性(案)について

資料2-2

【従来より実施している事業】

事業名	開始年度	連携会議・対策会議等の意見	令和9年度の方向性(事務局案)
多言語遠隔医療通訳 コールセンター設置・運営事業	R1～	追加言語の検討	令和8年度よりネパール語を追加 (R8.6～英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、フランス語、ネパール語の9言語対応) 事業の継続を重視し、既存言語の見直し等についても検討
外国人患者受入れワンストップ 相談窓口設置・運営事業	R1～	相談窓口にかかる情報の 周知・共有	令和8年度より府HPに相談窓口の対応内容を掲載 医療機関の利用促進のため共同設置をしている国と連携

【万博を契機に開始した事業】

事業名	開始年度	連携会議・対策会議等の意見	令和9年度の方向性(事務局案)
外国人患者受入れ研修事業	R7～	外国人患者受入れに係る情報共有 担当者のネットワーク形成の促進	地域の医療機関の顔の見える関係づくりにつながる研修プログラムを作成・実施
外国人向け医療情報整備事業	R6～	日本の医療システムの情報提供 旅行保険加入勧奨の継続	府内関係団体等と協力し、「おおさかメディカルネット for Foreigners」のさらなる周知を実施
外国人患者受入れ医療機関に おける患者受入れ環境整備事業	R7～	未収金対策の継続 未収金リスクの規模に応じた 医療機関への支援の実施	既存の補助金メニューについて、未収金リスクの規模に応じた 枠組みを検討
海外旅行保険の加入勧奨事業	R7～	旅行保険加入勧奨の継続	府内関係団体等と協力し、海外旅行保険のさらなる加入勧奨を実施
外国人材共生に向けた医療機関 整備事業(Beyond EXPO)	R8～	府内全域への展開	モデル地区(R8～R10は関空エリア)における事業を府内の外国人材が増加している地域に順次広げ実施